



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社ハッチ・ワーク 上場取引所 東
コード番号 148A URL <https://hatchwork.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 増田 知平
問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 竹内 聡（TEL） 03(5772)3621
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	2,023	15.4	223	69.1	237	110.9	155	110.9
2024年12月期第3四半期	1,753	16.0	132	—	112	—	73	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	81.34	77.89
2024年12月期第3四半期	41.32	38.18

（注）当社は2024年3月26日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2024年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2024年12月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第3四半期	2,764	932	33.7
2024年12月期	2,430	777	32.0

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 932百万円 2024年12月期 777百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	2,740	15.8	229	25.1	248	60.2	272	107.9	142.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	1,913,600株	2024年12月期	1,912,200株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	一株	2024年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	1,912,990株	2024年12月期 3 Q	1,785,493株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計上の見積りの変更)	6
(セグメント情報等)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しやインバウンド需要の回復などを背景に、緩やかな回復基調となる一方で、物価上昇やエネルギーコストの高止まり、米国政策や金融市場動向への警戒感などにより、経済の先行きについては不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社は「CREATE FUTURE BASE」の企業理念のもと、月極駐車場オンライン管理支援サービスである「アットパーキングクラウド」に係るAPクラウドサービスを中心とする月極イノベーション事業、貸会議室の運営に係る会議室サービスを中心とするビルディングイノベーション事業の拡大に努めた結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,023,024千円（前年同四半期比15.4%増）となりました。

営業概況としましては、APクラウドサービスにおける積極的な営業活動により契約社数は引き続き拡大しており、当該サービスに係るシステム登録台数（以下、APクラウド登録台数）も大幅に増加しました。それらにともない、管理会社から収受するシステム利用料、駐車場利用者から収受する決済手数料・初回保証料・月額保証料等が増加しました。また、貸会議室・シェアオフィスの両サービスともに売上高は堅調に推移し、営業利益は223,677千円（前年同四半期比69.1%増）、経常利益は237,902千円（前年同四半期比110.9%増）、四半期純利益は155,611千円（前年同四半期比110.9%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(月極イノベーション事業)

当事業においては、月極駐車場サブリースサービス、月極駐車場マッチングサービスを含むAPソリューションサービスが堅調に推移している他、主力事業である「アットパーキングクラウド」が引き続き拡大しており、全国において扱う駐車場数が大きく拡大し集客数が増加することでさらに評価が上がり、「アットパーキングクラウド」の導入が進むという競争優位のスパイラルが続いています。月極駐車場検索ポータルサイト「アットパーキング」においても、不動産業界最大団体ハトマークグループのハトマーク支援機構との業務提携を背景にした営業活動により、認知度向上や物件掲載エリアの全国拡大が進み、「アットパーキング」の顧客である不動産管理会社等の集客力向上につながりました。また、当社の強みである空き埋まりのリアルタイム情報を活用し、地方自治体と連携した「災害ステーション」を拡大する取り組みを推進するため、営業人員の強化、当社管理システムへの登録推進や管理会社との関係強化、サービス内容の拡充などに社内資産を適切に配分することで、新規顧客（導入先）の獲得とサービスレベルの向上の両立を進めました。その結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,279,515千円（前年同四半期比23.1%増）となり、セグメント損益は385,482千円（前年同四半期比40.1%増）となりました。

APクラウドサービス ARRの推移

	2022年12月期 第3四半期末	2023年12月期 第3四半期末	2024年12月期 第3四半期末	2025年12月期 第3四半期末
ARR（千円）	485,797	736,845	1,025,969	1,369,051

(注) ARR：Annual Recurring Revenueの略称。各期末月のMRR（Monthly Recurring Revenue）を12倍して算出。

MRR：Monthly Recurring Revenueの略称。対象月の月末時点における継続課金ユーザー企業及び月極駐車場利用者に係る月額料金の合計額（一時収益を含む）。

(ビルディングイノベーション事業)

当事業においては、貸会議室・シェアオフィスの両サービスともに売上高は堅調に推移しており、新規出店に向けた活動も実施した結果、当第3四半期累計期間における売上高は735,547千円（前年同四半期比3.0%増）となり、セグメント利益は176,776千円（前年同四半期比8.6%減）となりました。

(その他事業)

当事業は2025年12月期から別セグメントとしております。主として月極イノベーション事業に関連するシステムの受託開発を集計しており、当第3四半期累計期間における売上高は7,961千円、セグメント利益は4,347千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて275,879千円増加し、2,378,725千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が53,147千円増加したこと、月極イノベーション事業の拡大に伴い預け金が181,212千円増加したこと、未収入金等のその他が46,080千円増加したことによるものであります。固定資産は385,908千円となり、前事業年度末に比べて58,182千円増加となっております。以上の結果、総資産は前事業年度末に比べて334,062千円増加し、2,764,634千円となっております。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて319,163千円増加し、1,739,651千円となりました。その主な要因は、長期借入金の繰上返済を決定したことにより1年内返済予定の長期借入金が100,000千円増加したこと、月極イノベーション事業の拡大に伴い預り金が129,471千円増加したこと、未払法人税等が75,267千円増加したことによるものであります。固定負債は92,256千円となり、前事業年度末に比べて140,691千円減少しました。その主な要因は、社債が10,000千円減少したこと、長期借入金が138,900千円減少したことによるものであります。以上の結果、負債合計は前事業年度末と比べて178,471千円増加し、1,831,907千円となっております。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べて155,590千円増加し、932,727千円となりました。その主な要因は、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ350千円増加したこと、四半期純利益の計上により利益剰余金が155,611千円増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は33.7%（前事業年度末は32.0%）となっております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想につきましては、本日付公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※業績予想の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,474,198	1,527,346
売掛金	61,289	70,316
契約資産	3,155	-
貯蔵品	732	4,206
預け金	386,115	567,327
その他	241,293	287,373
貸倒引当金	△63,939	△77,845
流動資産合計	2,102,846	2,378,725
固定資産		
有形固定資産	41,692	49,611
無形固定資産	29,465	24,111
投資その他の資産	256,567	312,185
固定資産合計	327,726	385,908
資産合計	2,430,572	2,764,634
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,540	3,614
短期借入金	200,000	200,000
1年内償還予定の社債	60,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	50,040	150,040
未払法人税等	6,801	82,068
預り金	742,158	871,630
賞与引当金	5,480	17,931
保証履行引当金	9,506	10,644
その他	342,961	393,721
流動負債合計	1,420,487	1,739,651
固定負債		
社債	30,000	20,000
長期借入金	181,850	42,950
資産除去債務	18,801	28,157
その他	2,296	1,148
固定負債合計	232,947	92,256
負債合計	1,653,435	1,831,907
純資産の部		
株主資本		
資本金	56,900	57,250
資本剰余金	588,770	589,120
利益剰余金	130,952	286,564
株主資本合計	776,623	932,935
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	512	△208
評価・換算差額等合計	512	△208
純資産合計	777,136	932,727
負債純資産合計	2,430,572	2,764,634

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,753,522	2,023,024
売上原価	741,061	819,883
売上総利益	1,012,460	1,203,141
販売費及び一般管理費	880,164	979,464
営業利益	132,295	223,677
営業外収益		
受取利息及び配当金	99	1,448
補助金収入	-	20,050
その他	1,533	353
営業外収益合計	1,632	21,852
営業外費用		
支払利息	3,552	5,515
社債利息	683	377
株式交付費	5,939	-
上場関連費用	9,338	-
その他	1,636	1,735
営業外費用合計	21,150	7,627
経常利益	112,777	237,902
税引前四半期純利益	112,777	237,902
法人税等	39,009	82,290
四半期純利益	73,767	155,611

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

当第3四半期会計期間において、不動産賃貸借契約に基づく原状回復義務について、退去時に必要とされる原状回復費用に関する新たな情報の入手に伴い、見積りの変更を行いました。

当該見積りの変更による増加額9,257千円を変更前の資産除去債務に加算しております。また当該見積りの変更により、従来の方と比べて、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益がそれぞれ4,958千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	月極 イノベーション事業	ビルディング イノベーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,039,323	714,199	1,753,522	—	1,753,522
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,039,323	714,199	1,753,522	—	1,753,522
セグメント利益	275,092	193,372	468,464	△336,168	132,295

(注1) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	月極 イノベーション 事業	ビルディング イノベーション 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,279,515	735,547	2,015,063	7,961	2,023,024	—	2,023,024
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,279,515	735,547	2,015,063	7,961	2,023,024	—	2,023,024
セグメント利益	385,482	176,776	562,259	4,347	566,607	△342,930	223,677

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム受託開発事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注3) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりです。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	16,505千円	18,309千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。